

観光立国の実現は地方(地域)から

旅行業4社
トップ座談会

観光立国実現へ、旅行



高橋氏

2015年の見通しはどうか。
高橋 ます、予定されていた消費税の増徴が延期されたこと、一つのマイナ要因がなくなったことは業界にとって好材料だ。
増徴はやはりマイナ要因か。
高橋 今回、経験しているのは、当社ではそう認識している。全体の消費マインドを冷やす可能性があった。延期ということで、2015年度の営業展開のあり方を、われ

われも考え直そうと思っただけだ。
今年最大のテーマは、北陸新幹線の開業だ。間違いなく新しい需要の創出になる。国内旅行の流れを大きく変えることになると思うし、変えなければならぬ。
丸尾 われわれ旅行会社の役割だと思っただけで、魅力ある新しいルートを開発を行わなければならない。

「西への風」今年も吹く 新幹線が流動を変え

丸尾

先ほ少し触れたが、私も、上期は東北、下期は北陸を、「日本の旬」という、グループを挙げて取り組むキャンペーンのデザインをしようとしている。
丸尾 高橋さん言われた通り、北陸新幹線は新たな流動のムーブメントを作り出すだろうし、単に首都圏と北陸相互だけでなく、名古屋、大阪を含めた大きなトライアングルを形成することになる。大阪発長野などの新たな流れを含めて、日本全体の流動を変える一つの転機になるのではないかと、秋の5連休もプラス

丸尾 材料だし、世界遺産候補の「明治日本の産業革命遺産」などにも目を配るし、しっかりやっておかないといけない。
丸尾 経済成長を持続させる戦略が定着するかどうか最大のポイントだ。経済成長がわれわれの業界に大きく関係している。昨年は、GDPの成長率がマイナスという見方が多かったが、一方で今年度の民間シンクタンクの予測を見ると、1・5%や1・8%など、いい予想の数字が出てきている。消費税の先送りもあるが、アベノミクスがしっかりと

15年の国内旅行の見通し

丸尾 東武グループ入りしたことの効率が上がっている。2015年度は上期(4月9日～6月)は東北の大型キャンペーンを展開。重点を毎年の「日本の旬」に絞っている。上期は東北に力を入れている。東北支援の一環として、東北方面にはいろいろな継続的な取り組みを行い、2014年、東北方面は対前年0・6%増、前年をオーバーしている。これも継続的な取り組みの成果だと思っ

丸尾 東北は、私も重要地域だと考えている。東武鉄道は日光、鬼怒川から福島県へとレールが伸びている。グループの施設も仙台や蔵王にある。会津地区では沿線の自治体の方々と共同で商品化を進めている。宮城県の南三陸で行われている「ツル・ド・三陸」は引き続き協力していきたい。また、被災地へのボランティアツアーも進んでいる。震災を風化させないという数少ないなってきたが、継続して実施していることだ。

丸尾 当社は、中期経営計画「CTIVE 2016」に基づき、この達成を目指しているが、団体・個人とも計画を上回っている。
特に個人旅行の申し込みは、赤い風船を見ると女性と熟年シニア向けの商品が好調だ。女子旅は2012年に年間3億円くらいだったのが今は10億円くらいに成長している。熟年シニア向けは4億円が16億円くらいとなり、国内全体をけん引している。
円安の影響もあり、割高感のある海外旅行に行かず、むしろ国内の価値感や価値観のある商品にシニア層がシフトしたのかな、という感じがする。



坂巻氏

女子旅とシニアが好調 グループで販路増える

坂巻

丸尾 個人旅行に関しては、当社が東武グループ入りして、「スカイツリー」という素材が比較的自由に使えるようになったこと、そして東武沿線の群馬にある富岡製糖場が世界遺産に登録されたなどの明るい話題があった。
今までは個人旅行の販路が伸びてきたが、それが個人旅行のバイはまだ小さい。
丸尾 東武大震災から間もな4年、われわれは東北のこのことをどこかで考えていなければならない。
丸尾 東北は、私も重要地域だと考えている。東武鉄道は日光、鬼怒川から福島県へとレールが伸びている。グループの施設も仙台や蔵王にある。会津地区では沿線の自治体の方々と共同で商品化を進めている。宮城県の南三陸で行われている「ツル・ド・三陸」は引き続き協力していきたい。また、被災地へのボランティアツアーも進んでいる。震災を風化させないという数少ないなってきたが、継続して実施していることだ。

坂巻 アベノミクスへの期待感が高い中で1年がスタートしたのだが、消費税増徴で少し風向きが変わってきて、そして自然災害と円安が全体として当社の営業にも影響を与えた。
丸尾 当社は、中期経営計画「CTIVE 2016」に基づき、この達成を目指しているが、団体・個人とも計画を上回っている。
特に個人旅行の申し込みは、赤い風船を見ると女性と熟年シニア向けの商品が好調だ。女子旅は2012年に年間3億円くらいだったのが今は10億円くらいに成長している。熟年シニア向けは4億円が16億円くらいとなり、国内全体をけん引している。
円安の影響もあり、割高感のある海外旅行に行かず、むしろ国内の価値感や価値観のある商品にシニア層がシフトしたのかな、という感じがする。

丸尾 個人旅行に関しては、当社が東武グループ入りして、「スカイツリー」という素材が比較的自由に使えるようになったこと、そして東武沿線の群馬にある富岡製糖場が世界遺産に登録されたなどの明るい話題があった。
今までは個人旅行の販路が伸びてきたが、それが個人旅行のバイはまだ小さい。
丸尾 東武大震災から間もな4年、われわれは東北のこのことをどこかで考えていなければならない。
丸尾 東北は、私も重要地域だと考えている。東武鉄道は日光、鬼怒川から福島県へとレールが伸びている。グループの施設も仙台や蔵王にある。会津地区では沿線の自治体の方々と共同で商品化を進めている。宮城県の南三陸で行われている「ツル・ド・三陸」は引き続き協力していきたい。また、被災地へのボランティアツアーも進んでいる。震災を風化させないという数少ないなってきたが、継続して実施していることだ。

ABBA RESORTS 坐漁花

伝統の宿、新生。

純和風の趣と伝統のおもてなしをそのままに、既存施設を美しく快適に再生。ヴィラ11棟とレストラン棟も新たに追加してリニューアルオープンいたしました。アパリゾット坐漁荘の新しい物語が始まっています。

日本間のやすらぎと、和モダンの洗練を...

心地良い温泉を、6つの趣向あふれる湯殿で...

四季折々の食材の美味しさを、和洋多彩に...

東館 露天風呂付客室
ヴィラ プール&露天風呂付客室
庭園露天風呂
大浴場
南館 露天風呂付客室
離れ「松琴亭」露天風呂付客室

和食処
フレンチレストラン
鉄板焼コーナー

◆客室 / 本館19室(東館10室・離れ「松琴亭」2室・南館7室、一階客室は露天風呂付)・露天風呂付ヴィラ11室(内、2室プール付)
◆館内施設「和食処」さくら(個室14室)、フレンチレストラン「やまもも」(個室5室、鉄板焼コーナーと茶室を含む) ※日中はティールーム「茶」として営業、大浴場「菫葉」「紫苑」、庭園露天風呂「英」「葵」、貸切露天風呂(2カ所)、エステ「スイス・ハーヴェク」
◆その他「サロンの坐漁荘」、ギャラリー「義の心」、宴会場、バー「宵待」(カラオケルーム2室併設)、娯楽室、売店、駐車場(30台)

〒413-0232 静岡県伊東市八幡野1741 浮山温泉郷 ご予約とお問合せ:フリーダイヤル0800-888-1168 TEL:0557-53-1170
http://www.zagayosoh.com